

質問書に対する回答

入札番号 広施 27

件 名 リサイクルプラザ防爆ボイラー補修工事

次のとおり回答します。

質問 番号	質問内容	回 答	設計図書等の該当頁 (該当箇所)
1	給水配管材料について、特記仕様書にはSGP-VB、設計図面並びに内訳書にはSGP-PBとありますがどちらが正しいでしょうか。	特記仕様書に誤記がありました。SGP-PBです。	M-03 M-07 内訳書P9
2	特記仕様書 一般共通事項 3発生材の処理等について、再生資源の利用を図るものとして金属くずとあります。これについて特別な処分方法もしくはマニフェスト以外の特別な証明書や資料などの提出は必要でしょうか。この項目に金属くずが適用となっている現場の経験がなく、恐れ入りますがご教示ください。	不要です。	M-02
3	防爆ボイラー撤去立面図において15Aスチームトラップ撤去とありますが、図面にも内訳書にも新設もしくは再取付がありません。不要でしょうか。	M-06記載のスチームトラップは、廃熱蒸気過熱器に含まれますので、新設してください。	M-05
4	現地と図面に大きな相違があるように見受けられ、現地にある配管で図面上では確認できないものなどがあります。受注後現地調査を行い、その結果図面にも内訳書にもない配管類、機器、器具類等の撤去並びに新設があった場合変更の対象となりますでしょうか。	追加検討が必要な場合は協議の対象といたします。	M-05～07

5	本工事において、ボイラー停止可能期間は何日でしょうか。	リサイクルプラザの休所日を含め10日間です。	
6	設計図書には給水管、排水管、ガスパ管の撤去と新設が見込まれていますが、内訳書にはそれぞれ新設のみで、保温やガス配管の伸縮継手を含め撤去の項目がありません。変更対象でしょうか。	協議の対象といたします。	M-05～07 内訳書P9, 10, 12
7	設計図書の撤去平面図には機器据付用アンカーボルト撤去部分は補修を行うこととありますが、これはボルトを切断してさび止め補修という認識でよろしいでしょうか。また当該項目並びに新設のあと施工アンカーが内訳書に記載がありません。変更対象でしょうか。	設計図書M-05に誤記がありました。既設アンカーボルトの流用を見込んでいます。あと施工アンカーが必要な場合は、協議の対象といたします。	M-05 内訳書P12
8	図面にも内訳書にも石綿処分関連の項目がありませんので、事前調査済みと推測されますが、施工条件明示事項11 その他6労働災害防止対策のウにチェックがありません。本工事とは別に報告されますでしょうか。	施工条件明示事項11 その他6労働災害防止対策のウのチェック漏れです。事前調査し、その結果を関係機関に報告してください。	M-02 施工条件明示事項
9	内訳書P9改修工事 配管工事に排水・配管用炭素鋼鋼管(白)50A、並びにその切断・再接続と保温の記載がありますが図面で確認できません。どの部分かご教示ください。	「M-05ではドレン管切断」部、「M-07ではドレン管接続」部です。	M-07 内訳書P9
10	設計図書M-07の特記事項に廃熱配管に保温を施すこととありますが、廃熱配管とは図面上のどの配管でしょうか。また内訳書にはその項目がありません。変更対象でしょうか。	設計図書M-07に誤記がありました。廃熱配管の保温は不要です。	M-07
11	設計図書M-07の特記事項に現在稼働中の防爆システムに適合させることとありますが、具体的に何を適合させるのでしょうか。また、同特記事項に廃熱蒸気過熱器の出口蒸気温度	防爆システムに適合させるとは、回転式破碎機内の酸素濃度と過熱蒸気吹込み量を制御するシステムに適合させることです。 測定場所は廃熱蒸気過熱器の出	M-07

	は200℃±30℃とすることとありますが、どこで測定したらよいでしょうか。既設の温度計がありますでしょうか。	口です。既設の廃熱蒸気過熱器には温度計があります。	
12	特記仕様書8排水設備 1配管材料について、(エ)通気管の排水用塩ビライニング鋼管に○が付いておりますが、図面にも内訳書にも記載がありません。誤記でしょうか。	特記仕様書に誤記がありました。	M-03
13	LPGに関連する部分の積算のため当該施設のLPG納入業者をご教示ください。	米子瓦斯㈱です。	
14	既存の機器取り込みスペース(バルコニー)が狭く、機器の搬入出を安全に行うためには外部にステージ(足場)を組む必要があるのではないかと考えております。その際にマシンハッチ下部1階の扉が2～4日程度使用不可となりますが施設運営上差し支えはございませんでしょうか。また実際にこのステージ(足場)が必要と認められた場合については変更対象でしょうか。	過去の工事実績から外部にステージは不要と判断しています。	
15	ボイラー本体と廃熱蒸気過熱器を繋ぐ排気筒(煙道)はメーカーの付属品でなくダクト配管が必要と思われます。そのダクト本体と保温も含めた撤去並びに新設が内訳書に見込まれていないように見受けられますが変更対象でしょうか。	協議の対象といたします。	内訳書P8～12
16	廃熱蒸気過熱器より二次側の煙道について、過熱器本体を撤去・新設する際に排ガス取合点(設計図書M-66)において、作業上どうしても既存の保温やラッキングに影響が出るのではないかと慮しております。やむをえずダクト並びに保温やラッキングのやり替えが発生した場合は変更対	協議の対象といたします。	M-66

	象でしょうか。		
17	防爆システム連結調整費とはどういった手間や資機材を見込めばよろしいでしょうか。受注者がシステム全体を動かし調整するのは現実的ではないと思いますので、施設側でシステム全体を作動させる際それに立ち会い、本工事部分での不具合や再調整があればそれに対応するといったことでしょうか。	防爆システム連結調整費とは、回転式破砕機内の酸素濃度と過熱蒸気吹込み量を制御するシステムに適合させる調整費のことです。プラント建設メーカーから技術者を派遣して適合させる技術経費を含んでいます。	内訳書P8
18	経費計算について、本工事の契約上の工期は8カ月になろうかと思われませんが、施工条件明示事項に「ボイラー製作を除いた工期は2カ月を想定している。」と記載されております。積算上の設定工期をご教示ください。	積算上の設定工期は2カ月です。	施工条件明示事項 1. 工程 2. 施工時期、施工時間及び施工方法の制限
19	本工事の入札参加に当たって工程のシミュレーションを行ったところ、現時点ではスムーズにいった2週間程度必要との想定に至りました。ボイラー停止可能期間については現在質問させていただいているところですが、実際の工事期間が発注段階でのボイラー停止可能期間の想定より長くなる場合はボイラー停止期間の延長などの対応は可能でしょうか。またそれが不可能な場合はどういった対応が可能でしょうか。	過去の工事実績から1週間と見込んでいます。	